

四半期毎の自動車不具合情報の集計結果について（平成24年度第4四半期）

国土交通省では、自動車等のリコールの迅速な実施及びリコールに係る不正防止のため、四半期毎に自動車製作者や自動車輸入者から自動車の構造・装置に起因する事故・火災情報等の報告を求めています。

また、毎日、自動車ユーザーの皆様から自動車不具合情報ホットラインを通じて自動車に係る不具合情報を収集し、同じくリコール業務に活用しております。

四半期毎の自動車不具合情報の集計結果（平成24年度第4四半期）について公表します。

集計結果は自動車製作者等や自動車ユーザーからの情報によるもので、国土交通省としてその内容のすべてを確認しているものではありません。

なお、自動車の構造・装置に起因する事故・火災情報は、自動車の不具合に対するユーザーの関心を高め、適切な使用保守管理及び不具合発生時の適切な対応が促進されることを目的として、国土交通省のホームページで個々の事故・火災情報を検索することができます。（重大な事故・火災情報は随時更新、その他の事故・火災情報は四半期毎の更新）

<http://www.mlit.go.jp/jidosha/carinf/rci/cgi-bin/search.cgi>

さらに、自動車不具合情報ホットラインにお寄せいただいた個々の不具合情報については、同種・類似の不具合情報を提供していただくこと等を目的として以下の国土交通省のホームページで検索することができます。（毎月更新）

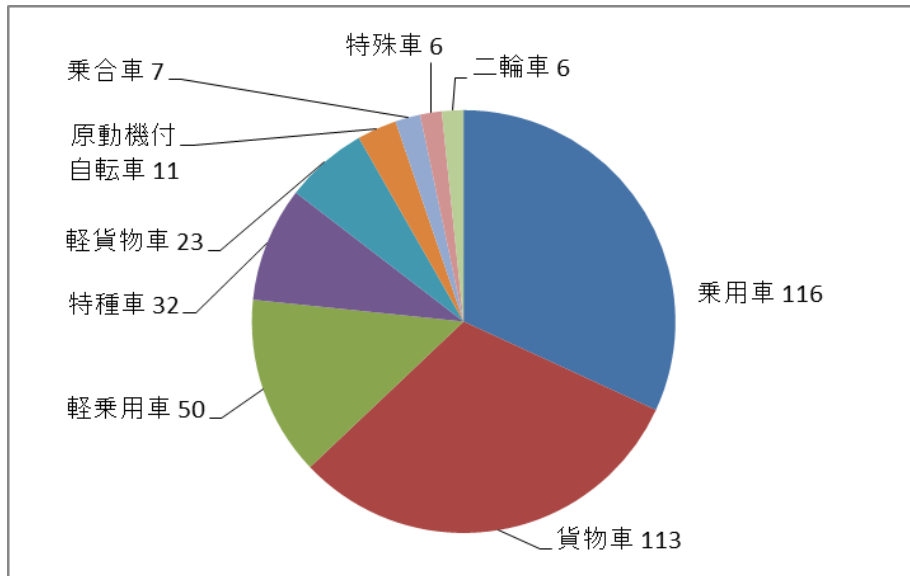
<http://www.mlit.go.jp/jidosha/carinf/rci/index.html>

自動車の構造・装置に起因する事故・火災情報（自動車製作者等からの報告）

自動車製作者等から新たに報告のあった、事故・火災情報の総数は、364件でした。

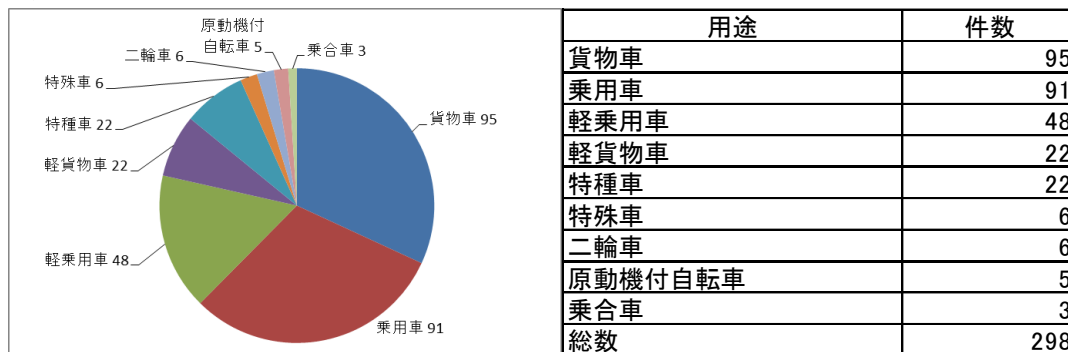
[1]用途別件数

事故・火災

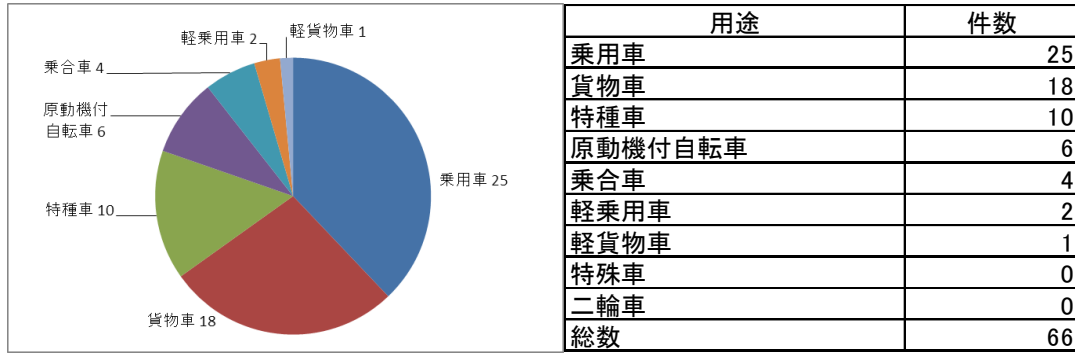


用途	乗用車	貨物車	軽乗用車	特種車	軽貨物車	原動機付自転車	乗合車	特殊車	二輪車	総数
件数	116	113	50	32	23	11	7	6	6	364

火災

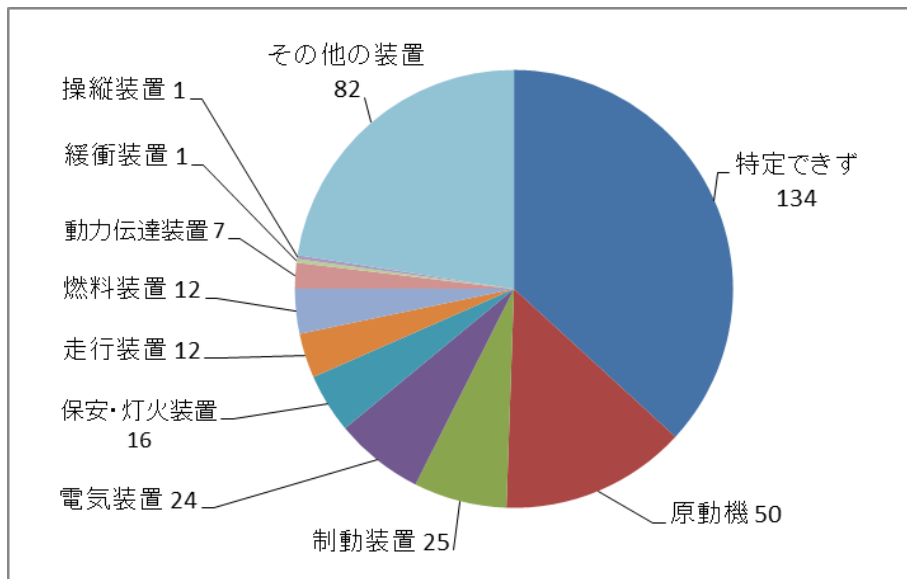


事故



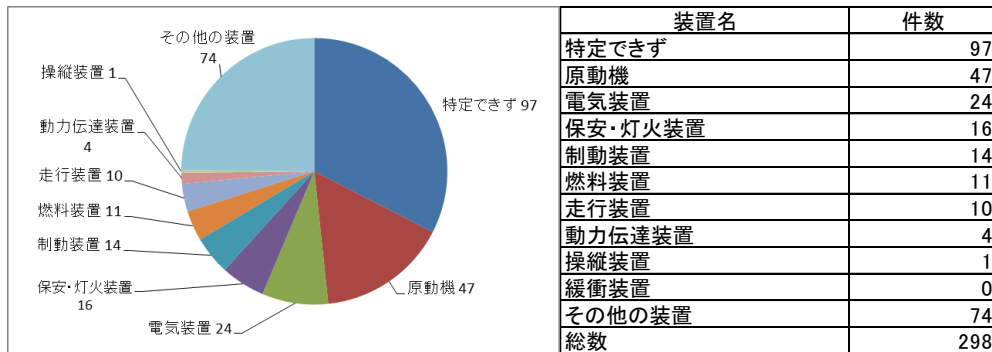
[2] 装置別件数

事故・火災

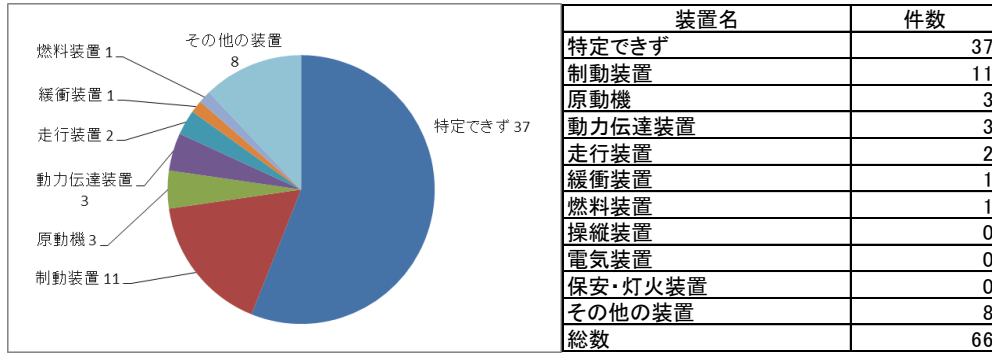


装置名	特定できず	原動機	制動装置	電気装置	保安・灯火装置	走行装置	燃料装置	動力伝達装置	緩衝装置	操縦装置	その他の装置	総数
件数	134	50	25	24	16	12	12	7	1	1	82	364

火災

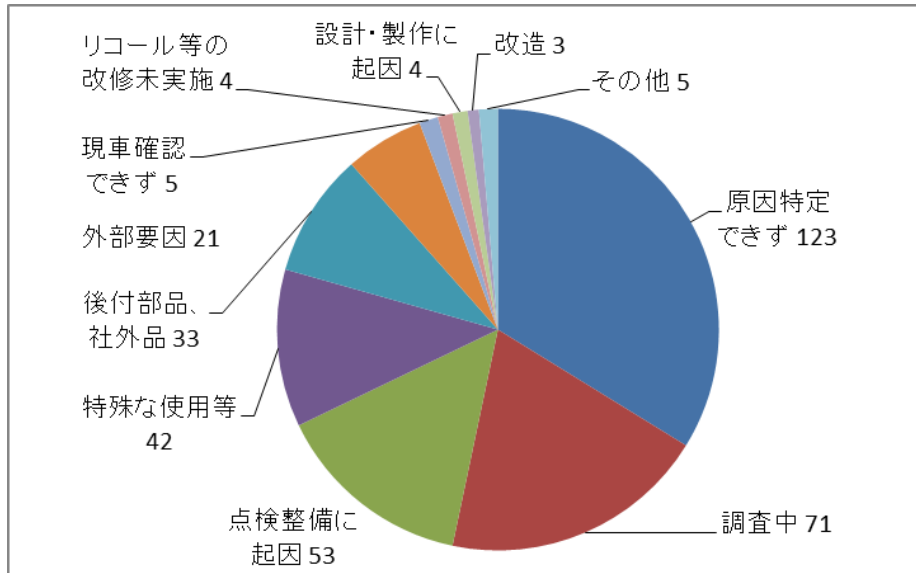


事故



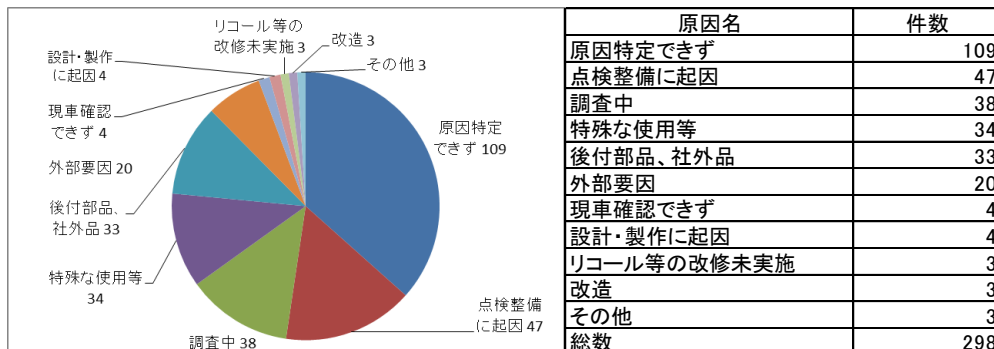
[3] 原因別件数

事故・火災

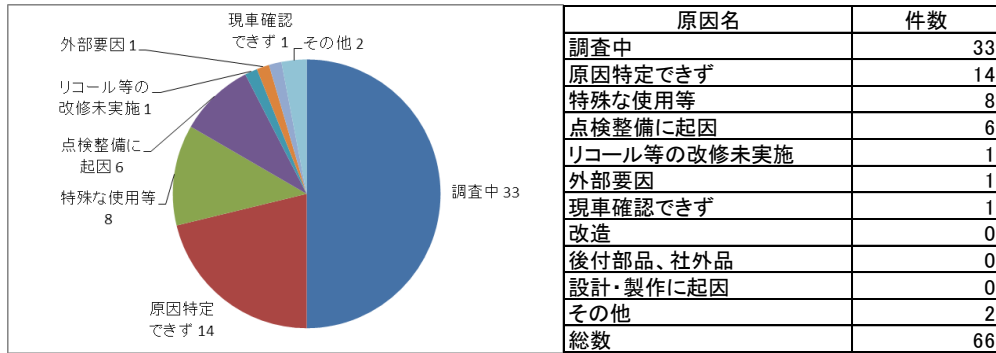


原因名	原因特定できず	調査中	点検整備に起因	特殊な使用等	後付部品、社外品	外部要因	現車確認できず	リコール等の改修未実施	設計・製作に起因	改造	その他	総数
件数	123	71	53	42	33	21	5	4	4	3	5	364

火災



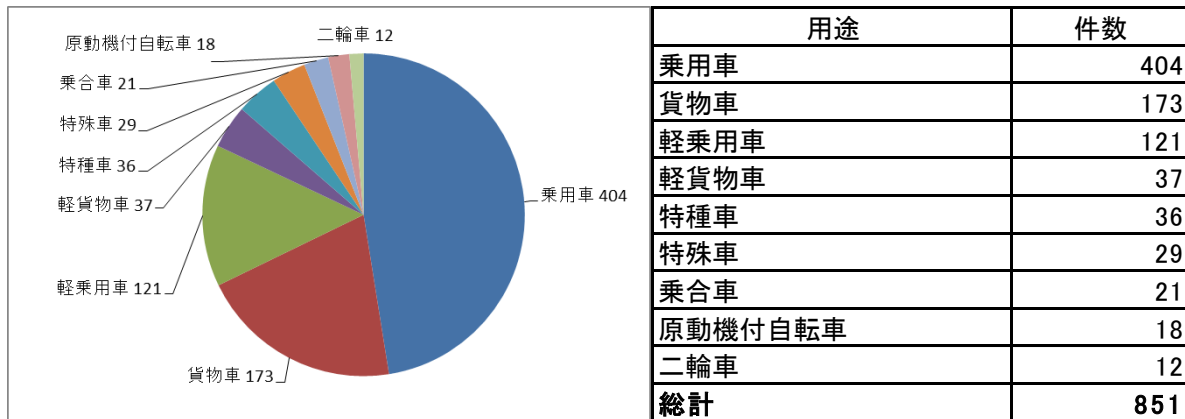
事故



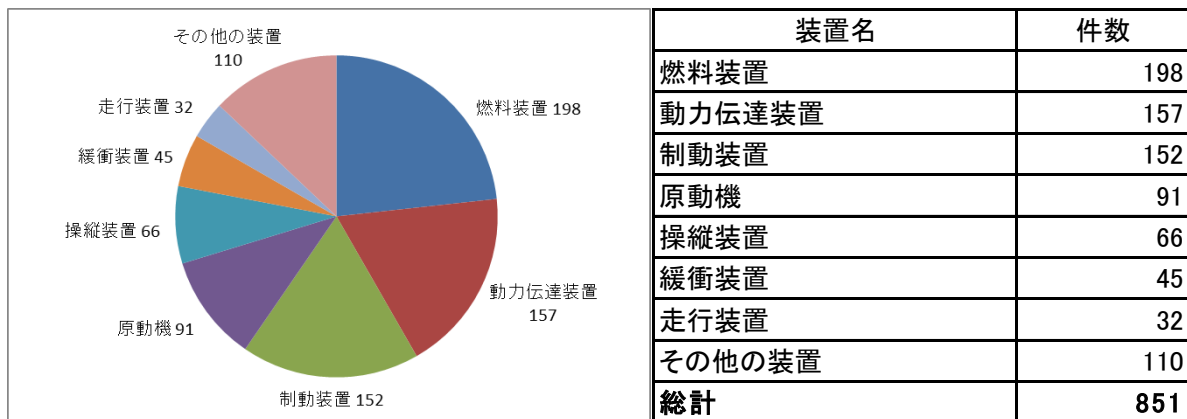
自動車の不具合情報（自動車製作者等からの報告）

自動車製作者等から新たに報告のあった不具合情報（事故・火災情報として報告されたものを除く。）の総数は851件でした。

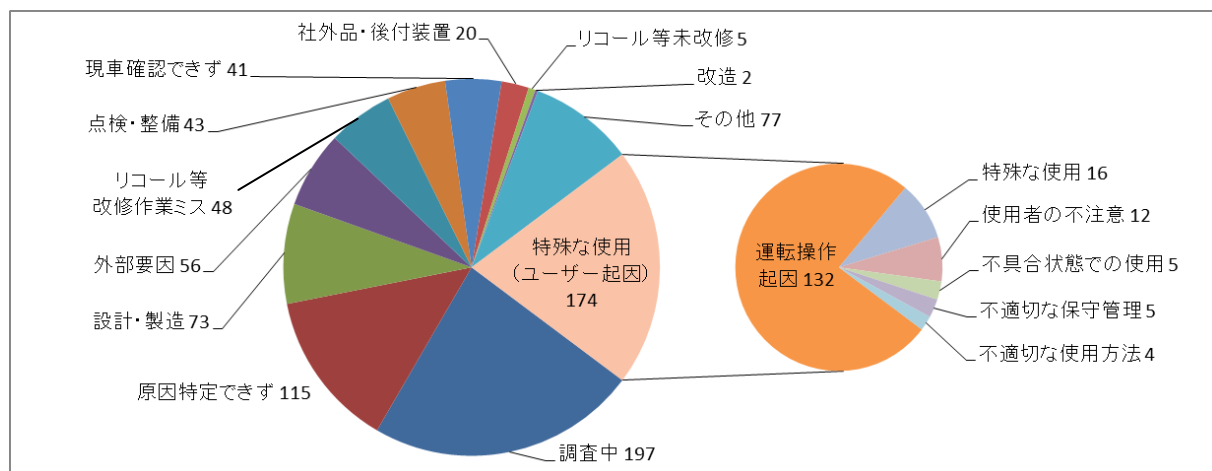
[1] 用途別件数



[2] 装置別件数



[3] 原因別件数

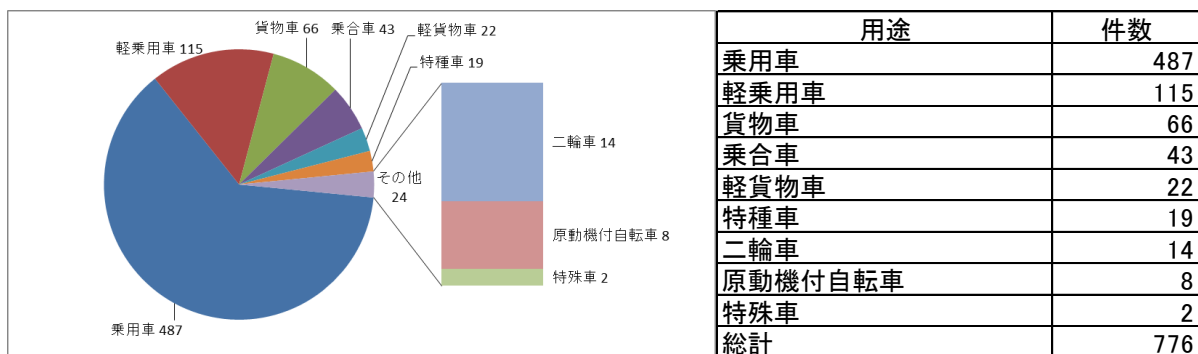


原因名		件数
調査中		197
原因特定できず		115
設計・製造		73
外部要因		56
リコール等改修作業ミス		48
点検・整備		43
現車確認できず		41
社外品・後付装置		20
リコール等未改修		5
改造		2
その他		77
特殊な使用	運転操作起因	132
	特殊な使用	16
	使用者の不注意	12
	不適切な保守管理	5
	不具合状態での使用	5
	不適切な使用方法	4
総計		851

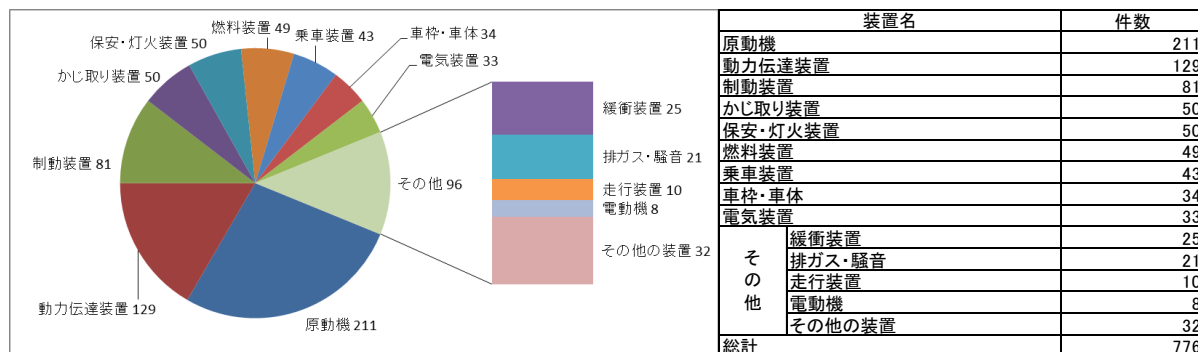
自動車不具合情報ホットラインに寄せられた不具合情報

自動車不具合情報ホットラインへ寄せられた情報は 1,392 件で、そのうち自動車製作者等の相談窓口との勘違いといった自動車の不具合以外の情報を除き、有効な自動車不具合情報の件数は 776 件でした。(各運輸局等への電話等による情報提供を含みます。)

[1]用途別件数



[2] 装置別件数



[3] 事実確認の概要

自動車ユーザーからホットラインに寄せられた不具合情報のうち、多発性や重大性等を勘案して自動車製作者等に事実確認している場合もあります。

事実確認の結果、適切な使用や保守管理により防ぐことが可能と思われる事案は以下の通りでした。

ユーザーの不適切な保守管理によるもの	4件
ユーザーの不注意によるもの	3件
運転操作に起因するもの	3件
後付け部品の不良や不適切な取付けによるもの	2件
不具合状態での使用によるもの	1件